

入試期間中の応援について

2022 年 11 月吉日

突然、私たちの目の前に現れた新型コロナウイルス感染症の猛威。私たちの生活、考え方、すべてにおいて、過去の延長ではない“今”を創ることが求められています。そして、実際に、コロナと共にある私たちもたくさんの変化をつくってきました。

私たちは何十年も前から、入試のその日、子ども達が入試に向かう試験会場で、自分でその受験に足を踏み入れるその時に、子ども達と共にいたいと思い、校門前での入試応援や、握手を続けてきました。2021 年、2022 年での入試。私たちは未来に向けて、これまで続けてきた校門の前での握手による入試応援を、新しい形に変え、オンラインでの応援にチャレンジしました。

何十年と続けてきた握手での応援は、子ども達が自分の今をあるがままに受け入れ、そして前に進めるよう「結果が出る前だからこそ、子ども一人一人に仲間として寄り添いたい」という想いを形にしたものです。その気持ちは、対面であってもオンラインであっても変わらない、日能研の強い想いです。

一度きりの中学入試。子ども達は、入試当日の時間は、物理的には一人で入試問題と向かい合います。でもその内側は、子ども達は一人ではありません。入試までに仲間と過ごした時間、ご家族からの支えの言葉、日能研スタッフからの数々の声。入試当日までの時間が今とつながり、仲間と共に“自分を育てた自分”が入試に向かい合います。この共にある時間の豊かさ。その豊かさを持って、入試当日に自分の力を出し続け、前に向かっていく絶対に諦めない日能研生として入試に向かうのです。それが、日能研での学びであり、日能研で育てた力です。

子ども達は、大人が想像している以上にしっかりと自分の足で立ち、入試に向かっていきます。そんな子ども達を信じて、本年度の入試においても校門前での握手の応援は行わないことにしました。

卒業生と共に学べたことを使って、「今年ならでは」を創りながら、今から受験生になる準備にじっくりと時間をかけて、「入試」という特別な体験を迎えていきたいと考えています。

日能研